

修学旅行新聞

発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会
発行人 前田 寛
東京都千代田区西神田 1-7-1
電話 (03) 2426-2932
支店 (東京) 6-36337

第22回 修学旅行研究発表会ひらく

関修委・全修協

三年間を集大成 丸一日の班行動

関東地区公立中学校修学旅行委員会(石川敏夫会長・水戸市立第二中学校校長)と、財団法人全国修学旅行研究協会(山本種一理事長)との共催による昭和六十一年度(第二十二回)関東地区公立中学校修学旅行研究発表会は、一月十九日十時から大宮市情報文化センターにおいて、地元埼玉県をはじめ関東一円からの三百名に達する教職員、PTA等関係者を集め、盛大に開催された。

研究発表会は、黒須正吉氏(大宮市立第二中学校校長)の司会、関修委大山茂運営委員長(埼玉県修学旅行対策部長・坂戸市立坂戸中学校長の開会のこたけで始まり、主催者を代表して関修委石川



熱心な三百名の参加者で埋まった会場(大宮市情報文化センター) 第一課深沢秋雄指導主事、県

修学旅行は、学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育の一環として行う学校教育上極めて重要な行事である。従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営の科学的な調査研究し、常にその改善に努力し、教育効果の充実に努め、必要あり教育界に課せられた責務である。(財団法人 全国修学旅行研究協会の趣意書から)

教養北足立北部教育事務所松岡光男次長が来賓として紹介された。

ここで司会を布目雅之氏(蕨市立蕨中学校校長)と交

替し、研究発表に入った。

最初の発表は、朝霞市立朝霞第四中学校教諭小日向勝美氏の「洛中自由行動における見学活動」と題する本年度の同校修学旅行の全貌を、ビデオでの上映によって紹介した。今までのスライド等の使用はあったが、動く映像による発表は今回初めてで、臨場感にあふれ、参加者に強い印象を与えた。

次は、大宮市立第二中学校教諭川上次雄氏の「自主性を生かした修学旅行」グループ活動を取り入れて」と題する発表で、六十年四月開校の同校第一学年担当教員の指導目標一校外活動でのグループ活動の積み重ねの上に立つ修学旅行を、失敗事例を交えながら語り、深い感銘を与えた。

続いて研究協議に入り、グループの編成についての補足説明など、有意義な討議を行った。

松岡光男氏の指導講話は、両校とも一年生からの積み重ねて練成した生徒を、三年次の修学旅行でそれを集大成し、丸一日のグループ行動を成功に導いた意の長い綿密な指導を賞賛し、さらに、学校で修学旅行を企画立案する際には、児童生徒の健康安全の保持については瞬時といえどもゆるがせに出来ぬと強調し、転機にある修学旅行について、形式のみでなくその質的側面においても充分研究を続けたいと結んだ。

航空機利用、海外修学旅行 43年10月通達を基本に

文部省は一月十九日、都道府県教育委員会等指導主事及び管区長会議を招き、修学旅行の実施に関する留意事項等についての説明を行った。これは、最近私立高校等での海外修学旅行の増加の傾向や、昨年九月運輸省が打ち出した「テン・ミリオン計画」海外旅行増進計画等を考慮し、先ず文部省は、去る昭和四十三年十月一日付の令、中、高等学校に対する通達「修学旅行に関する初等中等教育局長通達」は、航空機の利用や海外旅行を禁じたものではなく、これらの実施は、学校管理機関や、各学校の判断によるものとしている。

次に実施計画作成の際の留意すべき事項を示している。

その一として、修学旅行に航空機を利用しようとするときは、目的地、児童生徒の健康・安全の確保、経費、教育的意義など総合的に検討して判断すること。

その二として、高等学校等において海外修学旅行を実施するに当たっては、実施のねらい、教育的意義を明確にし、生徒の健康・安全の確保、交通機関、経費等に十分配慮し、これらについて保護者の理解を得ることなどに留意すること。

このほかに、自然教室の実施については、必要に応じて昭和四十三年通達の趣旨を勘案して行うことが適当であるとして、また今後新学習指導要領の作成に併せて、校外旅行が盛んに実施されている

ねて練成した生徒を、三年次の修学旅行でそれを集大成し、丸一日のグループ行動を成功に導いた意の長い綿密な指導を賞賛し、さらに、学校で修学旅行を企画立案する際には、児童生徒の健康安全の保持については瞬時といえどもゆるがせに出来ぬと強調し、転機にある修学旅行について、形式のみでなくその質的側面においても充分研究を続けたいと結んだ。

山口明氏(埼玉県修学旅行対策部部長・蓮田市立蓮田中学校校長)の開会の辞をもって研究発表会を終了した。

休憩後オムニマックスの映画「宇宙船三百五十万の旅」が、宇宙劇場の天井、ドームスクリーンに映写され、さながらみずから宇宙船に乗り込んだような「感動」にひたった。

九州事務所を開設 全修協

財団法人全国修学旅行研究協会では、事業の拡大発展を期して、二月一日福岡に九州事務所を開設、つぎのとおり人事発令を行った。

九州事務所長 森田 茂氏(新任)
九州事務所次長 森田 茂氏(新任)
九州事務所長 村山助雄氏(財全修協常務理事・福岡県支部長)
九州事務所長 森田 茂氏(新任)

森田氏は福岡第一師範卒。福岡市立中学校教諭、市教委主事、市立中学校教頭、校長、福岡県中学校長を歴任し昭和五十七年福岡市立舞鶴中学校長を退職した。

立石氏は海軍通信学校高等科卒。福岡県職員を経て、近畿日本ツーリスト(株)入社、九州内での所長、課長を歴任した。

全修協参事に 藤澤得祥氏

財団法人全国修学旅行研究協会の参事に、一月一日付で藤澤得祥氏が就任した。

藤澤氏は昭和十八年北海道第一師範学校卒業。道内の中学校教諭、教頭、札幌市内の中学校校長、北海道中学校長を歴任し、五十九年札幌市立陵北中学校長を退職した。

が、今後は私立高校同様、航空機利用や韓国への旅行が増加するものと思われる。県立高校の海外修学旅行を正式に認められたのは、熊本、長崎両県に続き、三県目となる。

3月11日に開催 全修協第29回通常総会

財団法人全国修学旅行研究協会の第二十九回通常総会は、三月十一日(金)東京の「ランドヒル市ヶ谷」において開催することに決定した。

風紋

「山かげに獅子節おこる獅子節は、高麗の昔を思へ」とひびく昭和二十五年、四月十日獅子舞を見に来て、と釈迦空の歌が、武蔵野の西、奥武蔵の山がようやくきわたるところ、埼玉県入間郡日高町の高麗(こま)神社にある▼元正天皇(西暦一七二六年)「続日本記」辛卯(駿河)甲斐、相模、上総、下総、常陸、下野七国高麗人千七百九十九人遷す武蔵始置高麗郡焉」とある。ここでいう高麗人は、六六八年新羅と唐の連合軍によって滅ぼされた、高麗(こうり)の渡来者たちである。現在は入間郡に統合され(明治二十一年一八九六、高麗郡の名を残す。奈良時代の渡来者の民の祖・若光(じやっこう)を祀ったのが高麗神社である)▼一月十一日(こ)韓国(金玉(クムオク)女子高等学校・金基例氏他九名の教員、生徒代表が山口学園埼玉女子高校理事・山口茂氏等の案内で参詣された。両校は姉妹校で、埼玉女子高校の韓国修学旅行時交歓会を持っている間からである)▼高麗神社の宮司五十九世高麗澄雄氏が、金玉高校の生徒を前に「私も朝鮮の子孫です」と親しみをこめて神社の由来、彼らの関係等熱く話されたのが印象的であった▼「一衣帯水とか国際理解とかいう言葉を心で感ずる。修学旅行の基礎の見直しは指向されている。高等学校の海外渡航は至近距離にありそ

うだ。我が国のルーツは韓半島、中国をめぐりては考えられない。山かげの獅子節に渡来を思ふ心を持つことが、国際理解の一歩でもあろう。

先生たちとの修学旅行「いつまでもわすれません!」

生徒の心にあざやかにつづられる、ツーリストの修学旅行。

先生と、そして友と行った修学旅行。かけがえのないふれあい、よき思い出としてひとりひとりの心に残る、そんな旅にしてあげたいですね。

ワールドワイドなネットワークを通じて、ツーリストがお世話する修学旅行は、各方面より多大なご好評を得ています。それぞれの教育方針に添った国内・海外の修学旅行なら、なんなりと近畿日本ツーリストにご相談ください。

近畿日本ツーリスト

本社 千101 東京都千代田区神田松永町19-2 ☎(03)255-7111

支店 国内242ヵ所(登録) 海外14ヵ所

運輸大臣登録一般旅行業第20号

先生たちとの修学旅行「いつまでもわすれません!」

先生と、そして友と行った修学旅行。かけがえのないふれあい、よき思い出としてひとりひとりの心に残る、そんな旅にしてあげたいですね。ワールドワイドなネットワークを通じて、ツーリストがお世話する修学旅行は、各方面より多大なご好評を得ています。それぞれの教育方針に添った国内・海外の修学旅行なら、なんなりと近畿日本ツーリストにご相談ください。

近畿日本ツーリスト

本社 千101 東京都千代田区神田松永町19-2 ☎(03)255-7111

支店 国内242ヵ所(登録) 海外14ヵ所

運輸大臣登録一般旅行業第20号

